

剛体用架線測定器と画像解析によるトロリ線偏位測定器

【概要】

剛体架線のトロリ線摩耗測定やしゅう面を連続的に撮影する剛体用架線測定器と、2台のカメラ画像からカテナリ架線の偏位を算出するトロリ線偏位測定器を紹介します。

【特徴】

①剛体用架線測定器

断面形状によらずトロリ線摩耗測定が可能であり、トロリ線しゅう面を連続撮影してその状態を観察することができます。

②トロリ線偏位測定器

2台のカメラ画像から偏位を算出し、車両屋根上に測定器を搭載することでカテナリ架線の偏位が容易に測定できます。

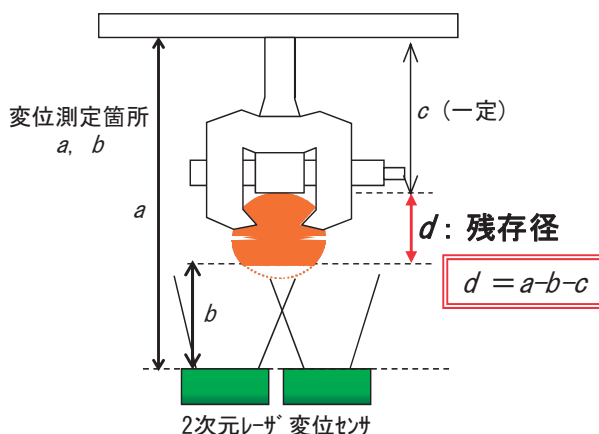


図1 剛体用架線測定器

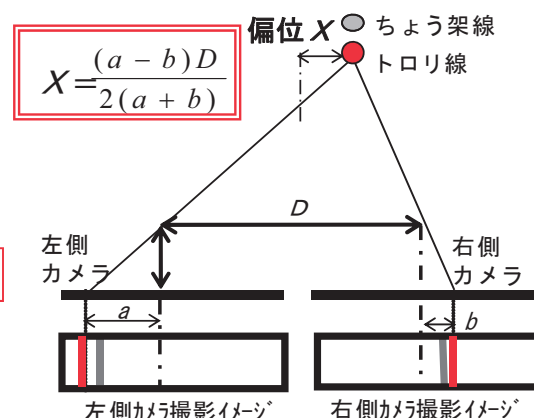


図2 トロリ線偏位測定器

【用途】

①剛体架線の架設後の確認、摩耗管理

②新線電化時の入線架線試験、速度向上試験時の偏位確認

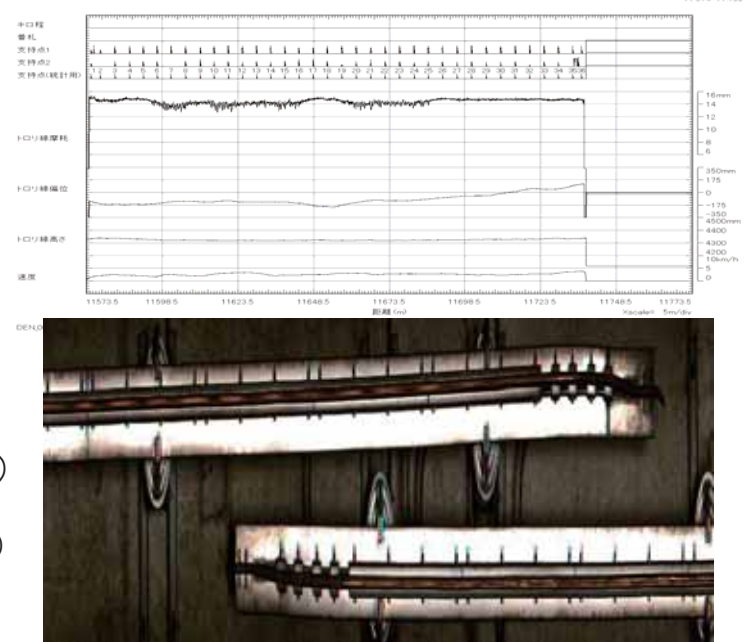


図3 剛体用架線測定器の
測定状況(左上)と出力波形(右上)
しゅう面画像(右下)
(特許出願中:特願2009-110348)

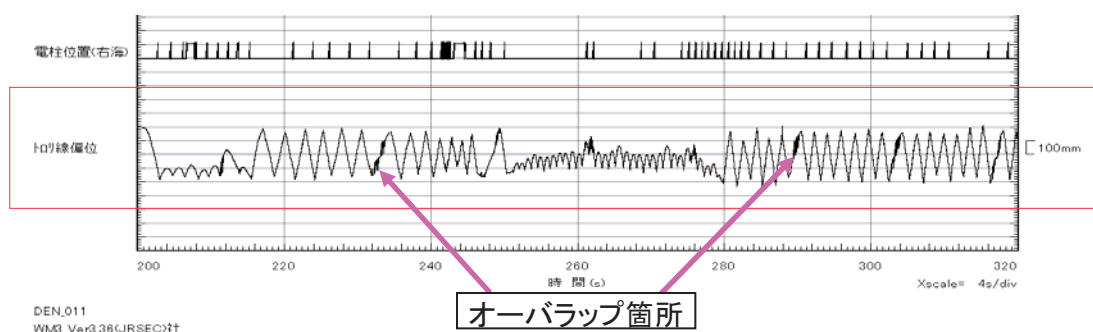


図4 トロリ線偏位測定器の屋根上搭載状況と測定波形例
(特許出願中:特願2008-80791)